



三重県南伊勢町

豊かな海の活用による 「活力ある産業・経済プロジェクト」

南伊勢町の水産業～伊勢志摩国立公園を食材で支える～



伊勢海老、マグロ養殖、
鯛養殖、アワビ、アオ
サなど、
三重県下一の水揚げ量
を誇る港がある町

水産業はまちの誇りであり『輝き』、『未来』へ受け継ぎたい産業

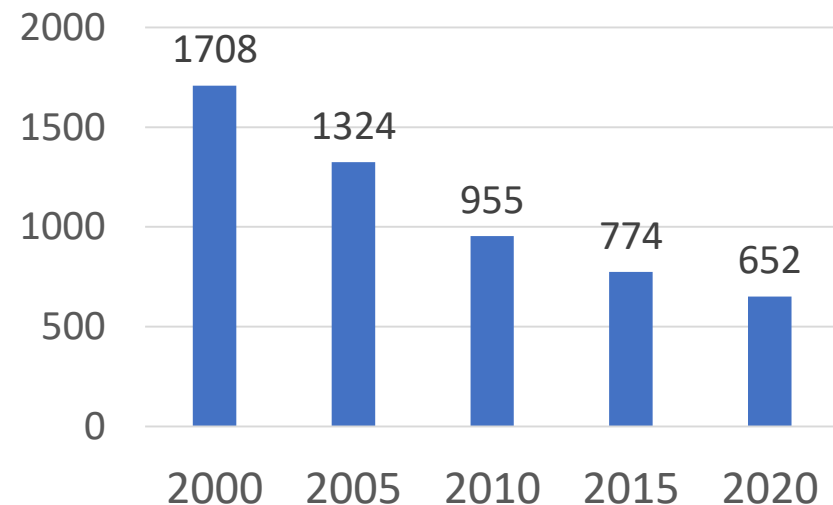
20年の間に漁業者数は半分まで減少
磯焼け現象など海洋の環境の変化も厳しくなっている。
まちの産業を支えたまき網漁業がこれまでほど儲からなくなっているとの声もあり、
このままではさらに町の人材が流出してしまう。

南伊勢町の水産業を抱える課題

漁業者の減少、日々獲れる魚の減少や魚種の変化、潮の流れの変化、藻場の減少、海に捨てられるゴミ問題や、未利用魚の活用、原料の高騰など

水産就業人口の推移

単位：人



自治体
の紹介

背景

現状の
課題



三重県南伊勢町

豊かな海の活用による 「活力ある産業・経済プロジェクト」

事業の 目的

- ◆ 子どもに継がせたいと思える稼げる仕事があるまちづくりを進めます。
このまちに住みたい、住み続けたいと思えるためにも、
地域の産業を再生し、稼ぎ働きがいを持てる環境をつくりします。

①持続可能な水産業の実現のための官民チームの 立ち上げや漁師塾、漁師希望者の受入態勢の整備



②一次産業後継者育成事業 南伊勢町版地域おこし協力隊



③ 一次産業後継者 等育成事業（漁業）

- 担い手育成受入漁業者と漁業就業希望者に対する支援
(短期研修) ⇒ 受入漁業者及び研修生への補助
※県や町と連携
(長期研修) ⇒ 補助金：150,000円/月
(研修生への人件費)

事業 内容

① 漁業・漁村活性化事業（コーディネート機能の構築）

- 集落支援員(経験者等) や地域おこし協力隊(U I ターン人材等)を活用して、漁協と連携して漁業相談窓口を設置
- 漁村集落の現状把握、漁業関連の情報収集、情報発信
- 担い手受入漁業者の掘り起こし

② 水産業担い手育成事業

- 既存漁業者の事業拡大及び事業継承のため、担い手となりうる人材発掘に関する仕組み構築及び情報発信
- 漁師塾制度の構築（研修制度と人材審査の確立）
- プロモーション事業



三重県南伊勢町

豊かな海の活用による 「活力ある産業・経済プロジェクト」

事業 内容

③水産業スマート化推進支援

生簀やいかだ周辺の海の状況（水温、塩分濃度、酸素濃度等）をリアルタイムに監視できる「うみログ」を実証実験で町内海域に10台設置



ICT、IoT 等の先端技術の活用により、水産資源の持続的利用と水産業の産業としての持続的成長の両立を実現

④藻場の再生や食害生物の駆除等の保全活動

ガンガゼや藻植生魚類の除去や、海藻種苗の投入、ヒジキ場の再生活動等の取り組み。



豊かな海の環境を守り水産資源を育てるとともに、カーボンニュートラルに貢献する

⑤豊かな海づくりに関連した取り組み (みなみいせまつり)

令和7年 全国豊かな海づくり大会
海上歓迎・放流行事を南伊勢町で開催

今年度はみなみいせまつりを
全国豊かな海づくり大会
1年前プレイベントと
同時開催にて実施



南伊勢町の豊かな海を
町内外にPR。活性化の契機に

⑥その他 若者定住団地の整備など 住みたいと思えるまちづくり

【若者定住団地の整備】

若者が安心して暮らせる
高台の住宅用地を提供

【子育て世代への支援の強化】

新築及び中古住宅取得支援
補助金など



若者が安心して働けるよう
住みたいと思える環境をつくる

令和7年3月完成予定
船越団地2



三重県南伊勢町

豊かな海の活用による 「活力ある産業・経済プロジェクト」

得られる
成果

地域の産業の再生、稼ぎ働きがいがある環境の構築

- ・ 水産業新規就業者の増（水産業12名）
- ・ 持続可能な水産業の実現のための官民チームの立ち上げ（チームTRITON南伊勢）
- ・ 水産新技術を用い生産性の向上、担い手の維持を実現
- ・ ひじき場や藻場の再生による御食国である伊勢志摩の食の維持（伊勢海老、アワビなど）
- ・ 藻場造成による二酸化炭素吸収
- ・ 水産業の町である町の産業の維持

（企業版ふるさと納税で得られる成果）

- ・ 地域課題に共感し、ともに取り組む企業パートナーの増加
→住みたい、住み続けたいと思えるまちへ

企業イメージの向上

- ・ 南伊勢町広報や町WEBサイトに企業名を掲載
- ・ 地元、地域へ深く企業イメージの浸透

CSR活動やESG活動、企業の人材育成に貢献

- ・ SDGs ・ 人材育成 ・ 地域課題解決
- ・ 環境保全（環境先進企業としての認知度向上）

ESG活動を促進

環境（Environment）

E:生物多様性の確保 E:海洋資源 E:気候変動

社会（Social）

S：地方創生 S：定住移住促進 S：環境保護
S：少子高齢化対策 S：雇用創出 S:人材育成



チームTRITON南伊勢
海の未来を考える
ワークショップ

地域資源を活用した事業構築

- ・ 関連事業（イベント等）の共同開発（※）
～本町で開催する関連事業（イベント等）を共同開発します。

※ただし、経済的便益にならないものに限りません。

寄付を
する
メリット等